

科目名称	グローバル・スタディーズⅡ				ビジネス・キャリア	( )	オフィス情報	( )	
英文科目名称	Global Studies Ⅱ				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	( )	
科目コード	590085	授業形態	演習	単位数	1				
教員氏名	水島 孝司		年次配当	1年次	後期	ホテル・観光	( )	大学編入	( )
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> 有・無				
授業概要 及び授業方法	<p>本授業の目的は2つある。1つは、受講生が本学の短期・長期の海外研修プログラムで訪れる(可能性のある)国・州・都市・大学・企業などに関する基礎知識を身につけることである。もう1つは、受講生が興味・関心を持っている日本以外の国の州・都市・文化などについて調査し、それを日本語と英語で分かりやすく説明できるようになるのを支援することである。</p> <p>授業は①教員によるミニ講義、②受講生による調査とプレゼン、の大きく2つで構成される。学生のプレゼンは個人単位で行い、PowerPointを使ってもらう。プレゼンの長さは「3分以上5分以内」を原則とし、発表で使用する言語の割合は日本語が8割、英語が2割程度とする。PowerPointの作り方は、『パソコン基礎演習Ⅰ』(学科必修科目)で学んでおいてほしい。</p>								
関連する科目	グローバル・スタディーズⅠ、パソコン基礎演習Ⅰ				卒業認定(学習成果)との関連		①, ②, ③, ④		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション(授業の進め方など)、アメリカに関する基本情報(歴史、地理、50州)</li> <li>2. ワシントン州およびシアトルの概要、ワシントン州にある大学</li> <li>3. 学生プレゼンテーションのリハーサル(1回目、学生A~J、日本語スライドのみ)</li> <li>4. ワシントン州に本社・主力工場を置くグローバルカンパニー</li> <li>5. 学生プレゼンテーションのリハーサル(2回目、学生A~E、日英のスライド)</li> <li>6. 学生プレゼンテーションのリハーサル(2回目、学生F~J、日英のスライド)</li> <li>7. 学生プレゼンテーションの本番(学生A~E)</li> <li>8. 学生プレゼンテーションの本番(学生F~J)、まとめ</li> </ol>								
授業時間外の 学 習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回、第2回、第4回の授業テーマについて、書籍、インターネットなどで情報・知識を得ておく。</li> <li>・興味・関心を持っている日本以外の国の州・都市・文化などについて調べ、考察する。</li> <li>・PowerPointを作成し、発表練習をする。</li> </ul> (学修に係る標準時間は週約90分)								
授 業 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学の海外研修プログラムで訪れる(可能性のある)国・州・都市などに関する基礎知識を身につける。</li> <li>・自分で調査した内容を日本語と英語で分かりやすく発表することができる。</li> </ul>								
課題に対する フィードバック	学生プレゼンテーションに対して口頭でコメントする。また、リハーサルで使用した原稿を添削して返却する。				評価方法・基準		小テスト(30点)、プレゼンテーション(50点)、参加度(10点)、自己評価(10点)		
テ キ ス ト	開講時に指示する。								
参 考 書	『地図でスッと頭に入るアメリカ50州』(デイビッド・セイン監修、昭文社) その他、適宜、授業で紹介する。								
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な場合は、アメリカに住む卒業生から、Zoomを使って現地の事情について教えてもらうことがある(2022年度は実施)。</li> <li>・アジアからの留学生がStudent Assistantとして参加可能な場合は、出身国に関するミニプレゼンを行ってもらったり、日本人学生のプレゼンに対してコメントしてもらうことがある。</li> </ul>								